



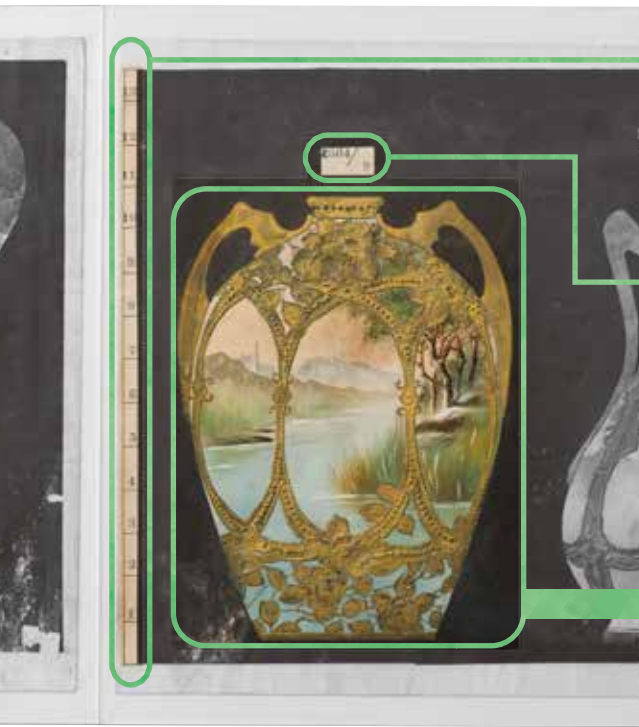
少し大きめの絵本のようなようです。となりにには、絵とそっくりの陶磁器とうじきが展示てんじしてあります。

Q. 絵の中には、数字すうじが入っています。
どこにあるかな？



プロフィール

さくひん 作品の名前	みほんちょう 見本帖
ねんだい 作られた年代	1909年ごろ（今から110年くらい前）
ばしょ 作られた場所	アメリカ



がめん
画面のすみに
目もりがある

せいひん あらわ
製品の大きさを表しています。

ばんごう
絵の上にも番号

せいひん ばんごう
これは製品の番号です。今でも、
絵がらや形には番号があり、
ちゅうもん
注文をもらうときなどに使います。



カタログと同じデザインの完成品

これは手がきのカタログです。

モリムラブラザーズはニューヨークにお店がありました。そこで働いていたセールスマン(商品を売る人)は、アメリカ中をまわり、お客様から注文をもらっていました。これはその時に持ち歩いていたカタログです。注文をもらすと、モリムラブラザーズから日本の工場に何がいくつ必要か、連絡を入れます。作られた製品は、日本から直接、お客様のところへ届けられました。写真が手軽に使えるようになると、白黒の写真に色をぬったカタログを使うようになりました。

「ちょっと耳よりエピソード⑪」

アメリカのセールスマン

アメリカでは、1869年(今から150年くらい前)に大陸横断鉄道が完成し、アメリカ大陸の東から西まで、鉄道で移動できるようになりました。それから15年ほどの間に、鉄道はどんどん広がっていきました。大きな都市のセールスマンは、鉄道を使って地方の町をまわり、注文をとっていきました。鉄道がアメリカの流通を大きくしたのです。

東から西まで
12日くらいで
行けるように
なりました。



「ちょっと耳よりエピソード」は全部で24話あります。すべて集めてならべかえると、ひとつのお話になります。続きはwebでも読むことができます。